日時:令和7年10月5日(日)

午前 10 時 30 分

会場:沼津市立図書館

4階 視聴覚ホール

(沼津市三枚橋町 9-1 電話 055-952-1234)

講師:大 进 隆 弘

第29回若山牧水賞受賞者、宮中歌会始選者、『未来』編集発行人

〈作品募集〉B5 判の用紙に、楷書で記してください。

- ・未発表の自作短歌 1 首 (新かな・旧かなの別)
- ・住所、氏名(フリガナ)、電話番号 上記を忘れずにご記入をお願いいたします。

〆切:8月20日(当日消印有効)

出詠料:1,000円

郵便小為替(1000円)を詠草に同封してください。

- ◎互選選歌のための「詠草集」を送付します。
- ◎出詠の際に、宛先を明記し、110円切手を貼付した 返信用封筒(長3)を同封して下さい。

賞: 沼津牧水賞、沼津市長賞、沼津市教育長賞ほか 詠草送り先: 公益社団法人沼津牧水会

> 〒410-0849 沼津市千本郷林 1907-11 沼津市若山牧水記念館 内 電話・FAX 055-962-0424 電子メール bokusui@thn.ne.jp

◎午前は講演、午後は出詠短歌の評をしていただきます。お誘いあわせてご参加ください。(入場無料) (出詠していない方には「詠草集」を200円でお分けいたします。) 短粉粉大

会

主催

沼津市教育委員会公益社団法人沼津牧水会

## 講演の風景



## 第七十二回「沼津牧水祭・短歌大会」 次第

令和七年十月五日 (日) 沼津市立図書館 視聴覚ホール

開 会

講師 紹 介 公益社団法人沼津牧水会理事 湯

挨

拶

公益社団法人沼津牧水会理事長

金

子

安

夫

Щ

昌

樹

演

講

牧牧 水の 叙景

大

辻

隆

弘

先 生

昼 食

休

憩

作品講評

大 辻 隆 弘 先生

(十三時~十三時)

(十五時三十分)

(十六時)

閉

会

表

彰

司会進行 永久保英敏 沼津牧水会副理事長

[講師プロフィール] 大 弘 (おおつじ たかひろ)

昭和三十五年三重県松阪市生れ。龍谷大学文学部哲学科卒業。同大学院文学研究 宮中歌会始選者、「未来」編集発行人。 科を修了。昭和六十一年に短歌結社「未来短歌会」に入会、岡井隆に師事。現在

歌集『水廊』で三重県文学新人賞、歌集『抱擁韻』現代歌人集会賞、歌集『デ の窓』で小野市詩歌文学賞、歌集『橡と石垣』で若山牧水賞をそれぞれ受賞。 プス』で寺山修司短歌賞、歌集『景徳鎮』で斎藤茂吉短歌文学賞、歌集『樟 脊梁』<br />
『近代短歌の範型』等がある。 その他の歌集に『ルーノ』『夏空彦』『兄国』『汀暮抄』、著書に『アララギの

紹

なお(おむつをもら

くなったことを知り、

友人の母親が亡

、(作者の友人と、実用的なお

## 沼津牧水祭 沼津牧水賞一 席に永久保英敏さん 0 短歌大会

市教委主催)が5日、 市立図書館4階視聴 短歌大会 口 ルで開かれ、 沼津牧水祭 (沼津牧水

を務めたのは、

者の表彰が行われた。 午前に講演、午後は 回若山牧水賞受賞者 を務めたのは、第29 今年の選者と講師 (1)

で宮中 歌誌『未来』編集発 歌会始 選者、

市)の「母逝きて感牧水賞一席には、永牧水賞一席には、永 には全国から105 今年の出詠歌募集 人の大辻隆弘氏。 にした方がいいので は明確に『譲りし』

り残る襁褓を友にわ 謝されたることのあ のヒナが玄関の軒端とんの「孵りたる燕」 す の巣より声をつきだ は」と評した。 牧水賞二 一席は埼玉

ili 叙 2 『わたせば』

大辻氏(左)から表彰される永久保さん =市立図書館視聴覚ホールで

中マイルスを聴いて「おまえ今どの風の 丁寧に詠っている。
これには「『玄関 じが出ている」 の評。 き出している様子がくちばしと一緒に突 ヒナの甲高い声が、 よく実態を見ている。 声をつきだす』 一席は静岡 も 原市) たか ルサン書店賞 社賞=山田純子▽マ 議所会頭賞=山田ゆ 代(沼津市)▽商工会 市)〉沼津朝日新聞 ▽教育長賞=髙木友別(札幌市)▽市議別(札幌市)▽市議 会議長賞= 一一一一件修 (神奈川県伊勢 ▽観光協会会 (神戸

きれいごとではない

おむつ。大辻氏は

しんみりとした歌。

たせば」が選ばれた。

襁褓は「むつき」=

称略)の通り。(敬悪で選ぶ互選賞の上票で選ぶ互選賞の上 をよ」。大辻氏は自 をよ」。大辻氏は自 をよ」。大辻氏は自 をがら批評。『友』を がら批評。『友』を 馬 [ 」 | 」 | 一 | 勝 | 長 | 徳 | 大 | 一 | 勝 | 長 | 徳 | 大 | 湯山昌樹 森﨑洋子 称略) (清水町) 者は次の通り。 以下、 また、 山太郎 の通り。(敬選者賞受賞 (同)、高 (河津市)、高 (河津市)、高 (東京都は (横浜市)、 田 鐵 江練髙

今和7年10月9日 沼津朝日新聞掲載記事